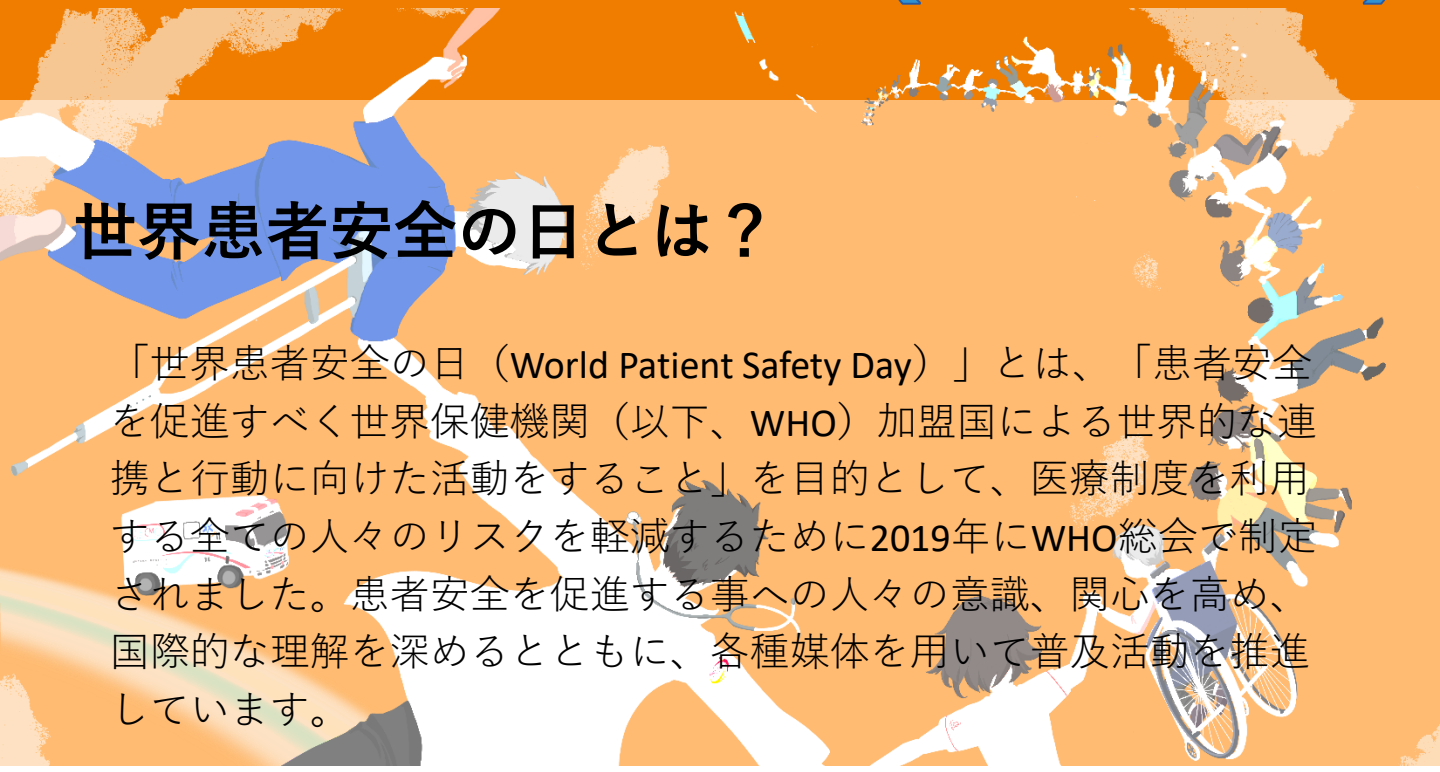
世界患者安全の日(9月17日)



世界患者安全の日とは？

「世界患者安全の日（World Patient Safety Day）」とは、「患者安全を促進すべく世界保健機関（以下、WHO）加盟国による世界的な連携と行動に向けた活動をすること」を目的として、医療制度を利用する全ての人々のリスクを軽減するために2019年にWHO総会で制定されました。患者安全を促進する事への人々の意識、関心を高め、国際的な理解を深めるとともに、各種媒体を用いて普及活動を推進しています。

福岡大学病院では医療安全を推進しています

福岡大学病院の医療安全の取り組み

患者誤認・転倒転落対策・患者参画

裏面で詳しく紹介します。

World Patient Safety Day 17 September

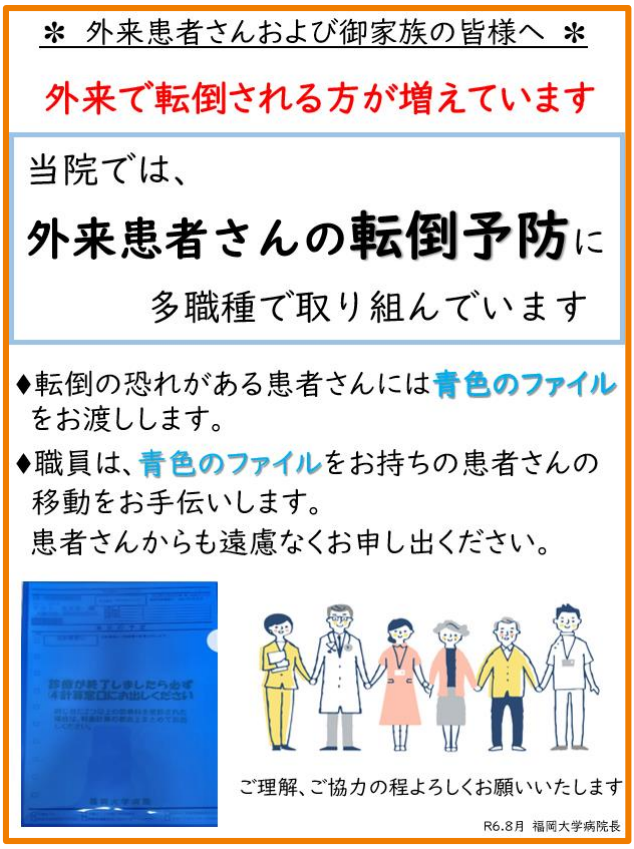
福岡大学病院 Fukuoka University Hospital

World Patient Safety Day 17 September

福岡大学病院の医療安全の取り組み紹介

福岡大学病院 Fukuoka University Hospital

当院では、患者さんに安心して受診していただくために、病院職員が一丸となって医療安全に取り組んでいます。



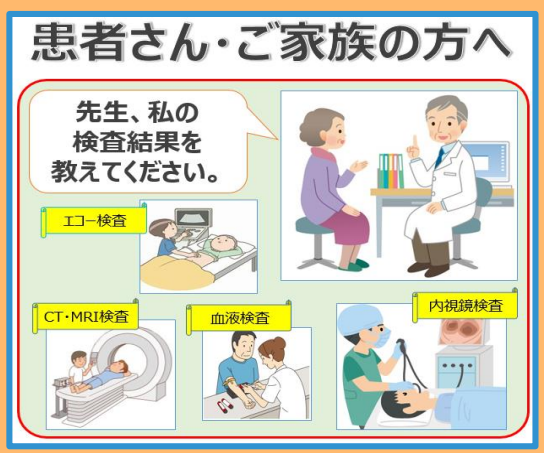
患者誤認対策

「患者さんの安全第一」を考え、治療・検査・処置等のあらゆる場面でお名前、生年月日の確認を行っていますので、ご協力をお願いします。

転倒転落対策

環境や対等の変化、治療や薬の影響によってご自身で思っている以上に転びやすくなります。転倒により頭蓋内出血や骨折をすることもあります。

患者さんも参加できる医療安全の取り組み



「先生、私の検査結果はどうでしたか？」と、遠慮なくお尋ねください。患者さんやご家族も医療チームの一員です。治療への積極的な参加をお願いします。

遠慮なく、医師・看護師へお尋ねください。